



夢・いっぱい

第7号

令和2年9月25日

○ 2020年度の経営方針：今日の学び合いを楽しみ、明日が待ち遠しい学校づくり
～ 開かれた学校において、「愛宕の子」として地域と共に育てる ～

コロナに負けず、様々な体験を求めて

～ 多様なかわりをとおして学ぶ環境づくりへ ～

校長 原田 剛

2学期が始まり、1ヶ月が過ぎようとしています。4連休を含めたシルバーウィークでは、各地に人手が戻ってきたことを各種メディアが伝えていました。コロナ禍にあっても、「3密」を避け、節度をもった行動を心がけることで、新しい環境に適応した生活を送ることが求められます。

本校においても、2学期は多くの体験活動や校外学習が計画されています。

先日は、2年生の「まち探検～虫さがし～」が行われ、子どもたちは秋を感じさせる本峠公園（牛野谷）でたくさんの昆虫を見つけ喜んでいました。つかまえた後は、虫のために食べられる草を探るところまで考えている子どももいました。

また、4年生では、岩国市総務部危機管理課による防災出前授業が行われ、身近な水害や防災知識についてお話をいただきました。今後も、様々な方と交流する中で、愛宕地区や岩国市の防災について考えを深め、自分たちなりの提案をしていく予定です。

その他にも、今後、特別活動部の計画による「異学年遊び（新聞紙を使った手つなぎ鬼）」や図書部による読書週間（ちなんだ催し（読み語りなど））が行われる予定です。平常の教育活動の一部が再開されつつあります。一つひとつの活動を充実させ、子どもたちの心をしっかり耕していきたいものです。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。



虫とりに熱中する2年生



防災出前授業（4年生）

☆ 個に応じた指導の充実を

愛宕小学校では、個に応じた指導を充実するために、日本語指導教室と通級指導教室が設置されています。岩国市内で日本語指導教室が設置されている小学校は、愛宕小他計3校です。また、通級指導教室については、同じく計8校となっています。

特に通級指導教室については、各地域の中心となる学校に設置され、近隣の学校から通う子どもたちもいます。今回は、これら2つの教室について紹介します。

日本語指導教室

日本語指導担当と岩国市で任用されている日本語支援員の先生（2人）の計3人が担当しています。下の写真のように、個別に学習する場合と、所属学級に補助として先生方が入り、日本語支援を行う場合があります。個別の学習では15人の子どもが学んでいます。

仮名文字や漢字だけでなく生活習慣やマナー等も指導しています。



「日本語教室」で行われている個別指導

通級指導教室

愛宕小学校では、昨年4月に設置され、「フレンズ」と呼んでいます。

通級担当が、主に1対1でソーシャル・スキル・トレーニングや発声など、その子どもに応じた指導を行っています。2学期からは、保護者の引率で、近隣の学校からも通っています。

保護者相談もできますので、ぜひご利用ください。



迷路を解くことで集中力を高める指導